

基本理念：参加と支え合いで築く 共に暮らせるまち

基本目標1 地域福祉の意識づくり・担い手づくり

(1) 地域福祉活動の担い手の発掘・育成

- ・まちづくりコーディネーターや認知症サポーターなどの専門的な知識や技術を持つ人の育成を行った。
- ・高齢者、障害のある人、育児経験者などが、自身の知識や経験を生かして地域福祉活動の担い手となる取組を推進した。各事業の会員・登録者数の増加を図るとともに支援の場を提供していく必要がある。
- ・ボランティア団体と個人が連携し、気軽に地域福祉活動に取り組めるよう、ボランティアセンターの運営を行った。コロナ禍で活動ができていなかった団体が復帰できるよう、マッチングの支援や広報活動支援などを引き続き行う必要がある。
- ・各地区社会福祉協議会で行う研修会などの活動に対し、講師調整などの支援を行った。地域福祉活動のリーダー的な役割を担う人が少ないことが課題であり、地域全体の福祉意識の向上のため、福祉に関する啓発活動を行う必要がある。

(2) 福祉教育の充実

- ・園児の各施設訪問による高齢者や障害者との交流や小中学校での福祉教育を実施した。
- ・福祉に関する出前講座や市民講座を実施した。今後も社会情勢や参加者ニーズなどを踏まえながら調査研究し、福祉の理解を深める講座を開催する。
- ・市役所職員（新規採用職員）を対象に福祉体験研修や障害者差別解消法に関する研修などを実施した。全職員への周知についても検討する必要がある。
- ・福祉・健康フェスティバルやポッチャ体験会などを通じて、障害や障害のある人への理解を深める機会の提供に努めた。

(3) ボランティアの育成・支援

- ・ボランティア団体と協働した講座の開催により、ボランティア人材の発掘と育成を行った。今後、科目を拡充し、より充実した講座を開催予定。
- ・情報、活動、人などのマッチングを行うボランティアセンターの運営を行うとともに、ボランティア団体や企業、自治会、市民などの交流の場となる「わがまちのつむぎ場」を開催した。

(4) 広報・啓発活動の充実

- ・福祉に関する各種サービスやボランティア情報などについて、市民だより、市ホームページ、社協だより、各種ガイドブックなどにて周知した。
- ・市民が福祉への意識を高めるきっかけとなるよう、福祉・健康フェスティバルなどのイベントを開催した。

【年度別目標及び振り返り】

| 区分                            |        |     | 計画策定時<br>(令和元年度) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度  | 令和5年度  | 令和6年度 | <目標未達成の項目について><br>要因、課題、今後の方向性等                             |
|-------------------------------|--------|-----|------------------|-------|-------|--------|--------|-------|---|
| 福祉実践教室                        | 満足度    | 目標値 | 68.0%            | 70.0% | 72.0% | 74.0%  | 76.0%  | 78.0% | 近年、満足度が減少しているが、満足度自体の評価尺度が曖昧であり、別の尺度を模索する必要がある。             |
|                               |        | 実績  |                  | 69.0% | 71.3% | 69.0%  | 68.0%  |       |   |
| 市社会福祉協議会の関わる障害者スポーツイベント（大会など） | 参加者数   | 目標値 | 430人             | 480人  | 530人  | 580人   | 630人   | 680人  | （目標達成）  |
|                               |        | 実績  |                  | 240人  | 907人  | 1,180人 | 1,272人 |       |   |
| 刈谷市民ボランティア活動センター              | 団体登録数  | 目標値 | 526団体            | 545団体 | 550団体 | 555団体  | 560団体  | 565団体 | ボランティア活動を始めるきっかけづくりや、既に活動している団体が気軽に来館し、悩みを相談しやすい雰囲気づくりに努める。 |
|                               |        | 実績  |                  | 543団体 | 547団体 | 553団体  | 556団体  |       |   |
| ボランティアコーディネーター養成講座            | 延べ修了者数 | 目標値 | 18人              | 19人   | 20人   | 21人    | 22人    | 23人   | 毎年修了生輩出を継続するとともに、地域にある福祉団体の活動、住民のニーズや課題の把握に努める。             |
|                               |        | 実績  |                  | 19人   | 20人   | 20人    | 21人    |       |   |
| ボランティア団体と協働した養成講座             | 開催数    | 目標値 | 未実施              | 1回    | 2回    | 3回     | 4回     | 5回    | （目標達成）  |
|                               |        | 実績  |                  | 0回    | 1回    | 3回     | 4回     |       |   |

基本目標2 支え合いのしくみづくり

(1) 地域福祉活動の支援

- 各地区の実態把握に努めるとともに、各地区社協及び福祉委員会の活動支援を行った。福祉委員会未設立地区については、引き続きアプローチを行う必要がある。
- 社協職員が地域課題に取り組む実践者としてのコミュニティソーシャルワーカー（CSW）養成講座を受講し、必要な知識と技法を習得した。

(2) 見守り活動の推進

- 市、社協、事業者が連携し、見守り体制の充実を図った。地域住民の身近な相談窓口として民生委員・児童委員や地域包括支援センターの周知を継続的に行う必要がある。

(3) 集いの場の充実

- 高齢者サロン、子育て支援センターなど気軽に集まることができる場づくりを推進した。
- 参加者を増やすために、より一層の内容の充実や周知啓発を行う必要がある。

(4) 連携と協働の推進

- 高齢者サロン交流会や子育て支援団体ネットワーク会議の開催など、地域活動を行っている団体同士の情報交換、交流の場を提供した。今後とも継続して、団体間や行政とのネットワークを強化する必要がある。
- 障害福祉サービス事業所での農産物生産の支援、販路の確保などを行った。これらの農産物について広く周知するとともに、市内民間企業と連携し、安定した生産・供給ができる環境の整備を支援する必要がある。

【年度別目標及び振り返り】

| 区分             |             | 計画策定時<br>(令和元年度) | 令和2年度  | 令和3年度  | 令和4年度  | 令和5年度  | 令和6年度  | <目標未達成の項目について><br>要因、課題、今後の方向性等            |
|----------------|-------------|------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--|
| 福祉委員会の活動<br>計画 | 作成数         | 目標値              | 9      | 10     | 10     | 11     | 11     | (目標達成)                                     |
|                |             | 実績               | 9      | 11     | 14     | 15     | 15     |  |
| CSW養成講座        | 延べ<br>修了者数  | 目標値              | 10人    | 11人    | 12人    | 13人    | 14人    | (目標達成)                                     |
|                |             | 実績               | 10人    | 11人    | 12人    | 13人    | 14人    |  |
| 民生委員・児童委員      | 相談・支援<br>件数 | 目標値              | 2,035件 | 2,090件 | 2,120件 | 2,150件 | 2,180件 | 気軽に相談できる方法の模<br>索や、民生委員活動のPR<br>をさらに行っていく。 |
|                |             | 実績               | 2,035件 | 1,563件 | 1,538件 | 1,721件 | 1,646件 |  |

基本目標3 安心・安全な福祉のまちづくり

(1) 相談体制の充実

- ・ 複雑化・複合化した相談内容に対応するため、福祉総合窓口の設置を行った。今後とも各機関との連携を強化していく必要がある。
- ・ 想定事例を題材とした各関係課による模擬支援会議を実施し、情報を共有するだけでなく、連携意識も高めることができた。
- ・ 職員の相談技術向上のため、研修会や講演会、交流会などに参加した。

(2) 公的な福祉サービスの充実

- ・ 高齢者や障害のある人を対象とする日常生活用具費やタクシー券の支給など様々な公的な福祉サービスを提供した。
- ・ 福祉サービス従事者の技術向上及び職場環境の改善を図るため障害福祉サービス事業所の担当者会議を行った。一方、事業所においては人員不足が課題となっているため、人員募集方法などの検討の必要がある。

(3) 誰もが住みやすい都市環境づくりの推進

- ・ ユニバーサルデザインを踏まえた公共施設などの整備を行った。あわせて、わかりやすいサインの整備を進める必要がある。
- ・ 北部地域においてデマンド交通の実証実験を行い、高齢者や障害のある人への移動支援を検討した。バス運行計画や地域の移動需要や特性に応じた交通体系を検討し、さらなる充実を図る必要がある。

(4) 権利擁護の推進

- ・ 成年後見制度における後見人などの調整及び支援を円滑に実施するため、中核機関を整備し受任者調整会議を開催した。
- ・ 認知症など日常生活上の判断に不安のある人への対応について、成年後見センターと連携し、福祉サービスなどの利用援助とあわせ成年後見制度の利用を促進した。一方、契約に繋がらないケースも多いため、他制度や他機関に繋げる支援の必要がある。

(5) 地域の防災・防犯活動の推進

- ・ 自治会、自主防災会などを含めた打合せを行うとともに、住民参加型の地区避難所開設訓練などを実施した。
- ・ 避難行動要支援者名簿を作成し、避難支援関係者へ提供した。返信率向上を図るため、分かりやすい調査票様式の作成や、制度をより周知する必要がある。
- ・ 避難行動要支援者の個別避難計画について、対象者や様式を検討し、モデル地区を設定して作成を進めた。
- ・ 防災リーダー、災害ボランティアコーディネーターなどの養成講座を開催した。今後とも災害・防災の知識を有する人材の育成に努める。
- ・ スクールガードや地域安全パトロール隊など、地域の自主的な防犯活動への支援を行った。引き続き、日常生活の中で実践できる防犯活動の啓発を行い、防犯意識向上を図る必要がある。

【年度別目標及び振り返り】

| 区分                       |     | 計画策定時<br>(令和元年度) | 令和2年度  | 令和3年度  | 令和4年度  | 令和5年度  | 令和6年度  | <目標未達成の項目について><br>要因、課題、今後の方向性等 |
|--------------------------|-----|------------------|--------|--------|--------|--------|--------|---------------------------------|
| 高齢者、障害のある人の包括的・総合的な相談体制  | 目標値 | 未整備              | 準備     | 準備     | 準備     | 整備     | /      | (目標達成)                          |
|                          | 実績  |                  | 準備     | 準備     | 準備     | 整備     |        |                                 |
| 地域福祉に関する市役所内の組織横断的な課題検討会 | 目標値 | 未設置              | 準備     | 設置     | /      | /      | /      | (目標達成)                          |
|                          | 実績  |                  | 準備     | 設置     | /      | /      | /      |                                 |
| 避難行動要支援者名簿の情報提供に係る同意者数   | 目標値 | 3,953人           | 3,976人 | 3,999人 | 4,022人 | 4,045人 | 4,068人 | (目標達成)                          |
|                          | 実績  |                  | 5,173人 | 5,673人 | 4,795人 | 5,450人 | /      |                                 |
| 災害に関する訓練の実施              | 目標値 | 実施               | 実施     | 実施     | 実施     | 実施     | 実施     | (目標達成)                          |
|                          | 実績  |                  | 検討     | 中止     | 実施     | 実施     | /      |                                 |
| 成年後見制度推進役としての中核機関        | 目標値 | 未整備              | 準備     | 準備     | 準備     | 整備     | /      | (目標達成)                          |
|                          | 実績  |                  | 準備     | 準備     | 準備     | 整備     |        |                                 |